

YMCA NEWS 金沢青年

No.27(2021年7月号)

発行所:金沢キリスト教青年会 〒920-0998 金沢市里見町 44-1 里見町タウンハイツ 201

TEL/FAX(076)255-7782

<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/index.html>

金沢 YMCA と奈良 YMCA のつながり “能登に集まれ！”

金沢 YMCA 評議員 藤井 辰男

早朝の静けさの中、目の前に広がる海。「ヨイショ！ヨイショ！」と網を引く子どもたちの声が響きわたる。「ヤッター！」と、網の中で泳ぐたくさんの魚に目を輝かせている子どもたち。富山・金沢・大阪・奈良の 4YMCA 合同で行なった「第1回能登フレンドシップキャンプ(1992年8月)」、地引網の光景である。子どもたちの笑顔が今でも心の中に鮮明に残り、何とも言いようのない喜びが押し寄せてくる。仲間と励まし合いながら過ごしたキャンプ。波の音を聞き、身体いっぱい潮風を受けていると、ゆったりとした時が流れ、生命感が溢れてくる。



同じ年の1992年2月に「西日本YMCAウエルネス協議会」が富山YMCAにて開催され、奈良YMCAが主管を担うことになった。この協議会をきっかけに、「能登に集まろう」との提案が出され、初めて4YMCAの合同キャンプが実現したのである。私は事前の打ち合わせで金沢YMCAを初めて訪れた。奈良YMCAが石川県にて初めて行なったキャンプは、「能登サイクリングキャンプ(1977年8月)」であった。当時、全国のYMCAが「お早うサイクリング」のプログラムを推進し、サイクリングプログラムがとても盛んに行われていたのである。その当時は、まさか金沢に4年間在住し、金沢YMCAと関わりを持つとは想像もしていなかった。

私は大学生の時、奈良YMCAボランティアリーダーとなり、その後、職員として37年間活動することができた。私の人生において大きな転機となったのは、YMCAと出会い、キリスト教信仰に導かれたことである。そのことは私にとってYMCAの仕事方向づける根底となっている。YMCA活動を通して子どもたちと出会い、人と向き合うことで心に響き合う新鮮なものを感じた。とても価値あることに会うことができたのである。奈良YMCA退職後、北陸学院中学・高等学校に働き場が与えられ、金沢YMCAの維持会員となった。金沢の素敵な文化にかこまれた町並みを歩いている時、「私はなぜ今、ここにいるのだろう」と、とても不思議に思えた。

これからもYMCAキャンプが、未来に希望をもって「生命を賛美し」「平和」を求め、「互いに愛しあいなさい」と聖書に語られているイエス様のメッセージを伝え、「生き方が新たにされる」キャンプであり続けたいと願っている。またいつの日か、能登の地でキャンプが行われる日を楽しみにし、少しでも関わりを持つことができれば幸いである。今も私は奈良YMCAの野外活動アドバイザーとして、子どもたち・リーダーと共に活動をしている。主の導きと恵に感謝して。



第2回能登フレンドシップキャンプ(1993年8月4日~7日)における地引網漁

金沢 YMCA わいわい農園体験と自然農法

金沢 YMCA 理事 田口 昭典

私は北海道の田舎で生まれ育ちました。勉強を頑張った記憶はありません。毎日のごとく山や川で遊び、大自然が私の遊び場でした。父が営林署の職員で、国有林から伐採された木を業者に引き渡す貯木場の責任者をしていて関係で、十勝・釧路地方を転々としてきました。

魚釣りは今も1番の趣味です。また、小学生の時から畑に作物を植え、収穫する喜びを味わってきました。当時の肥料といえば、人糞が主で、中学になってからは人糞の入った桶を担いで自宅や学校から畑まで運びました。さすがに夕食どきにこのような作業をする人を「けしからん」と思ったものです。

そのような経験があつてのことか、今、幼稚園での作物作りに励んでいます。今年は五郎島金時を200本、キゴ山の畑に植えました。10本だけピーナツも植え、子どもたちと収穫する喜びの日を楽しみにしています。そのほか、園では、ナス、トマト、キュウリ、ピーマン、枝豆、ブロッコリー、ジャガイモも植えています。プランターのものは毎朝、子どもたちが当番で水やりをしています。

北さんが長い間、わいわい農園を切り盛りしてください、いろいろ報告してくださっており、ぜひ参加をしたいと思いつながら時間帯のこともあり、願いが叶いませんでした。一緒に汗を流したかった、と思った時はもう北さんは天に帰られていました。

先日、新たに委員長になられた井川さんの呼びかけで三小牛の畑に初参加しました。10時スタートに少し遅れて参加すると、もう既に井川さん、室山さんが作業を始めておられました。なんと立派に手入れされていることか、というのが最初の印象です。今まで関わってくださった方々の証です。私はこれから少しでもお役に立ちたいと正直思いました。



この日の主な作業は、草とりでした。どんどん気温が上がる中での作業は大変ですが、汗をかくのも心地よいものでした。そして、参加して何よりも楽しいことは、参加者同士での語りです。畑で異業種交流が起こっています。現役を退いたおじさんたちが集って何かのために、誰かのために奉仕することは価値があります。

作業が終わった後、傍らの竹林やキウイの棚などを見学しました。竹林にはまだまだ竹の子が出ており、いくらでも採っていいという許可が出て、私は欲張ってたくさん採って帰りました。また、すでに時期を終えたワラビが葉を広げていました。しかし、その藁(とう)のたったワラビのそばにまだ十分に食べられる新しいワラビを発見し、夢中で探しました。田口・平口・室山。



作業終了後の記念撮影。座っているのが井川、その後ろ左から夢中で探しました。田口・平口・室山。

目が慣れるとたくさんのワラビが私を呼んでいます。そんなことで、初めての「わいわい農園体験」は、ワラビと竹の子のお土産付きの豊かで楽しいものとなりました。

ところで、私は30歳で牧師の働きを始めました。その頃に出会った本の一冊が『自然農法』という本です。著者は福岡正信さんです。当時、食品添加物の問題に興味があり、あらゆる食べ物や添加物、農薬などのことを自己流で勉強していました。九州大分の高崎山の猿に奇形が多発しており、原因は子どもたちが食べるお菓子を与えるからだ、などというショッキングなニュースが流れたのもその頃のことです。福岡正信さんは自然農法を確立し、世界から信頼され、90歳を過ぎても自然農法の普及に世界を駆け回りました。思想的に私も大きな影響を受けています。

古い話ですが、実話に基づいた「奇跡のりんご」という映画が作られました(阿部サダヲ、菅野美穂出演)。りんご農家の木村秋則さんの妻が、使用する農薬で苦しんでいました。夫は、なんとか農薬を使わないりんご作りはできないものかと試行錯誤を繰り返します。近所の同じりんご農家からは苦情がくるし、害虫や病気で収穫が激減します。そのような中、彼は福岡正信さんの書いた『自然農法』という本に出会ったのです。映画の1シーンに私は「あれだ!」と思わず声をあげました。私が牧師になりたての頃、すなわち40年近く前に出会った本が登場したからです。木村さんは失敗を繰り返しながらも、ついに無農薬の美味しいりんごを完成しました。スタートは、「愛する妻を農薬の苦しみから救いたい」という愛の心でした。

愛は全てに命を吹き込む。愛はすべてを結ぶ。自分の利益を求めない愛。この愛が奇跡を生み出しました。ちなみにこの自然農法は、耕さず、肥料をやらせず、除草をせず、農薬を使わない農法です。なお、この映画は今もレンタルビデオで見ることができます。

2016年度金沢YMCA活動についての報告 ～創立75周年記念事業を中心に～

金沢YMCA理事 平口 哲夫

青少年活動としては、「たけのこ掘り体験」(2016年4月29日、北陸学院三小牛キャンパス内竹林)と「スキー教室」(2016年2月4日、白山一里野スキー場)が挙げられる。また、地域社会への奉仕活動としては、「クリーンキャンペーン」(金沢市青少年団体連絡協議会主催、2016年5月29日)、「ながまちふれあいフェスティバル」(金沢市青少年団体連絡協議会主催、2016年11月20日)、「ユニセフ街頭募金」(2016年12月23日)、熊本地震復興支援募金がある。

以上は恒例行事であるが、特別行事として創立70周年記念事業が実施された。記念式典は2016年7月30日(土)14:00～18:30、金沢ホテル5階の「加賀の間」と「兼六の間」にて三部構成で行われ、60余名が参加した。

詳細は『金沢YMCA創立70周年記念誌』(CD版、2017年8月30日発行)に掲載されており、このCD版は金沢YMCAのウェブサイトからダウンロードすることができる。



<http://sophiruka.sakura.ne.jp/kanazawaymca/70th-anniversary/contents.html>

記念誌の構成は以下になっている。

1. 挨拶、祝辞、歴代理事・主事・主事補

(1) 挨拶 金沢YMCA理事長 朝倉 秀之、(2) 祝辞 日本YMCA同盟総主事 島田 茂「金沢YMCA70周年を祝して」、(3) 祝辞 富山YMCA総主事 松田 誠一「とこしへの希望に燃えて」、(4) 歴代理事・主事・主事補

2. 随想

(1) 金沢YMCA第4代主事 酒井 哲雄「金沢YMCAの創立と主事をしてきた頃の思い出」、(2) 金沢YMCA第7代主事 羽鳥 直之「1960年代前半の思い出」、(3) 金沢YMCA第10代総主事 笠井 康助「金沢YMCA創立70周年記念式典の快挙を祝う」、(4) 元金沢YMCA英会話講師 米永 吉範「金沢YMCAと英会話学習」、(5) 金沢YMCA評議員 数澤 輝夫「青少年奉仕賞を受賞して」、(6) 金沢YMCA常務理事 澁谷 洋太郎「ともがきひろがり行きて」、(7) 金沢YMCA理事長 朝倉 秀之「YMCAの今昔」、(8) 金沢YMCA評議員 北 肇夫「金沢YMCAと上方落語を楽しむ」、(9) 金沢YMCA理事 平口 哲夫「金沢YMCAとハイY」、(10) 金沢YMCA会員 清水 淳「金沢YMCA創立70周年に寄せて」

3. 略年表

4. 一般財団法人 金沢基督教青年会 定款、2016(平成28)年度金沢YMCA役員

5. 金沢YMCA創立70周年記念式典の記録

(1) 式典プログラム、(2) 記念式典参加者名簿、(3) 準備・受付・開会・記念式などの写真集、(4) 祝辞 金沢市長 山野 義之、金沢市青少年団体連絡協議会会長 正木 明、(5) ゴスペル公演 北陸グレース・マスクワイヤ、(6) 記念講演 前アジア・太平洋YMCA同盟総主事、元日本YMCA同盟総主事 山田 公平「日本とアジアの青少年活動の夢」要約、(7) 記念祝会 プログラム、開会挨拶 金沢YMCA理事・創立70周年記念実行委員 藤井 辰男、祝会写真集、閉会挨拶 金沢YMCA評議員・創立70周年記念実行委員長 数澤 輝夫

6. 編集後記・奥付



式典で挨拶する朝倉秀之の理事長



記念講演 山田公平 前アジア・太平洋YMCA同盟総主事、元日本YMCA同盟総主事



北陸グレース・マスクワイヤによるゴスペル公演



記念講演後に撮られた記念集合写真

